

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	10・19	ご家族様へは運営推進会議の議事録や小祝新聞、受診結果報告書などを発行し情報提供を行っている。又、意見箱の設置、必要時には都度個別に相談を行いご要望やご意見をお受けできるよう努めているが、より良い支援に向け相互理解と協力体制づくりが必要である。	ご家族様との相互理解を深め、ご家族力を大切にしながら共に協力のもと、より良い支援体制づくりを目指す。	・行事参加の声掛けを行いご家族様にも負担が無いよう無理なく懇親の機会を作る。 ・アンケートの実施を行う。	12ヶ月
2	2・35	運営推進会議を通し地域防災活動の情報協力も得られて来ているが、高齢者の夜間災害避難は時間がかかる為、地域住民の方々や地域消防団の方々の協力が必要である。	運営推進会議や地域防災会議などを活用し、施設防災体制の整備を行う。また、地域の防災対策協力を行う。	・地域防災対策への協力。 ・避難訓練、地域消防団との連携体制の整備。 ・近隣住民の方々との相互理解と協力体制。	12ヶ月
3	13・33	重度化していくのは明確であり、職員の技術と知識を向上し、重度化を受け止め対応していく必要がある。	勉強会や研修への参加機会を作り、職員のスキルアップを行う事で、ご利用者様が安心してその人らしく生活できるようなケアを実践する。	・勉強会への参加。 ・技術研修や実践研修。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。